

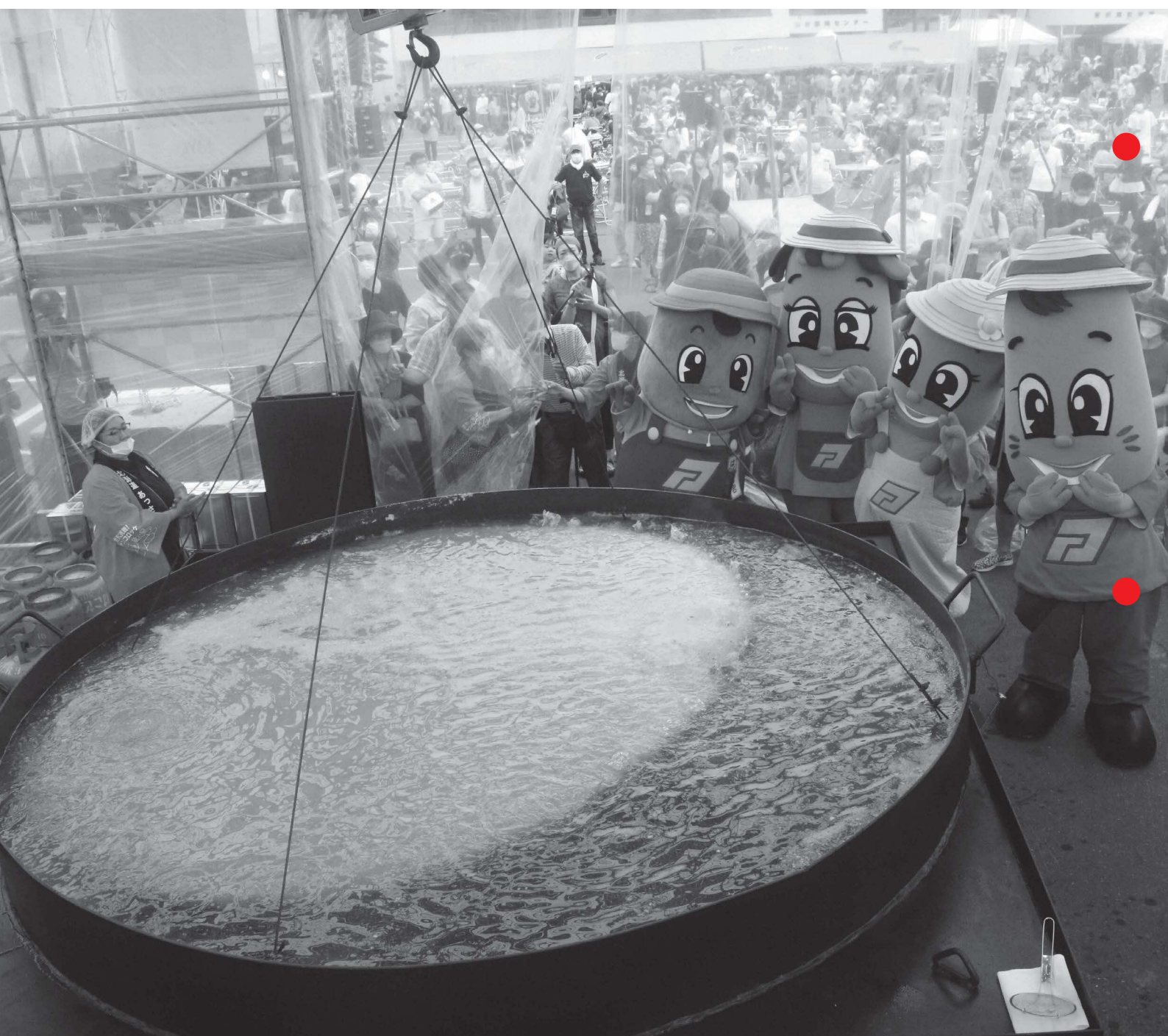
議会だより（議会報告会合併号）

令和4年9月

No. 118

あっさぶ

題字は、厚沢部町認定こども園 よねや 米谷 れい 玲音さん です。



STOP！！ジャガイモシストセンチュウ

～日本一のブランド「あっさぶメイクイン」を守ろう！～



道の駅あつさぶ商業施設及び24時間トイレ指定管理委託料など

1億1636万8千円を補正

総額45億1875万円

令和4年第2回定例会が6月16日の
1日間開かれ、補正予算等19件を審議
し、いずれも原案どおり可決されまし
た。

補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ1億16
36万8千円を追加し、総額
45億1875万円となりました。
増額された主なものは次
のとおりです。

● 鶏地区研修センター長寿命
化工事費
(1467万7千円)

● 公営塾改修工事実施設計委
託料
(573万1千円)

● 町民支えあい応援券給付事
業
(3557万円)

● 住民税非課税世帯等に対す
る臨時特別給付金
(750万円)

● 子育て世帯生活支援特別給
付金
(200万円)

● 道の駅あつさぶ商業施設及
び24時間トイレ指定管理委託
料
(1451万8千円)

質疑応答(要旨のみ)

問 公営塾の改修工事設計委

託料が計上されているが、ど
れくらいの改修の規模を想定
しているか。
高田議員

答 旧共済組合の建物を利用
し、現在2階にある大会議室
を4つに区切つて教室を設
け、1階には自習室と男女
別々のトイレを設置する予定
です。

また、消防法上1日の利用
人数が50人を超える施設にな
るため、それに見合った消防
設備も設置する予定です。

問 観光費の委託料で24時間
トイレの指定管理者と管理業
務内容は。
山崎議員

答 4月からトイレの清掃管
理全般を一般社団法人厚沢部
新エネルギー開発に指定管理
者として委託し、1日2回程
度で掃除をしている状況で
す。

問 道の駅新商業施設及び24時間トイレの光熱費として、271万4千円増額補正されているが、その要因は。

香川議員

答 24時間トイレに関しては、当初予算で光熱費を計上してはなく、今回150万円増額補正しました。

また、新商業施設に関しては、電気代等を再度精査した結果、120万円増額とすることが分かり、合算して271万4千円を増額補正した次第です。

問 今後の新型コロナウイルスの予防対策について。

中山議員

答 国の方針としては、屋外であればマスクの使用を緩和するという方針が出されていますが、当町としては、基本的にマスクをするべきではないかと思っています。

また、4回目のワクチン接種は60歳以上の方を先行して接種を進めています。

条例

●厚沢部町固定資産税の課税免除の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

租税特別措置法施行令等の一部が改正されたことに伴い、条例の一部を改正しました。

●うずら温泉宿泊施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

原油価格および物価高騰の影響により経営環境が悪化したことに伴い、宿泊料の改定を行うため、条例の一部を改正しました。

規約

●北海道市町村職員退職手当組合規約の一部を変更する規約

●北海道市町村総合事務組合規約の一部を変更する規約

●北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の一部を変更する規約

「上川中部福祉事務組合」が設立されたことに伴い、それぞれの規約に当該組合を追

加するため規約を変更しました。

専決処分

●厚沢部町税条例等の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い、条例を一部改正したことを報告しました。

●厚沢部町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、条例を一部改正したことを報告しました。

報告

●厚沢部町一般会計繰越明許費の繰越

議員派遣

●議員研修会(道議長会主催)及び行政視察

目的 分権時代に対応した議会の活性化及び議員の資質向上を図るとともに、スマートアグリシステムを採用した

高収量・高品質な作物栽培方法を視察し、今後の行政推進の参考とする。

●全道議会広報研修会

場所 札幌市、苫小牧市
期間 7月6～7日
議員 全議員

●産業厚生常任委員会視察研修

目的 小水力発電施設及び高収益作物の生産・加工・販売の先進事例を視察し、今後の行政推進の参考とする。

場所 栃木県他
期間 7月25～28日
議員 浜塚久好
香川直樹

山崎 孝
佐々木 宏
鈴木 祥司

●道南地区森林・林業・林産業活性化推進議員連盟連絡会現地研修会

目的 他町議会との情報交換及び連携を図るとともに、森林・林業・林産業の施策の充実、活性化促進の参考とする。

場所 松前町
期間 8月10日
議員 全議員

●全道議会広報研修会

目的 議会だよりの編集技術向上に資するため、町村議

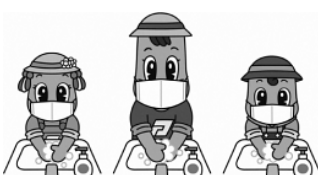
会広報の事例発表等により研修する。

場所 札幌市
期間 8月23～24日
議員 松村松雄
上戸昌行
山田克哉
香川直樹

補正予算額一覧表

区分	補正額	補正後の額
会計名		
一般会計	1億1636万8千円	45億1875万円

※特別会計の補正はありませんでした



討 論

歴史文化情報発信施設映像制作業務委託契約の締結について討論があり、採決した結果、賛成5人・反対4人（議長を除く）の賛成多数で可決されました。

■反対討論 山崎議員

透明性が欠けております。7,000万円の事業を起すのに、これからどういう映像制作をしなければならないとか、そういうものほとんど見えてきていません。それと同時に、もう私は前の議会ではいろいろな討論したときには落札した業者に決定されたものだと思っていますし、それからどういう映像制作を作るのか、十二分にもう行政とは協議を済ませて、モデル的なものでは出来上がっているものだと私は思っています。ところが、そうではないというようなことであるのであれば、このままでいくと、落札した業者のそういう方向性をそのままただ流すというような格好になるのではないかと、そういうふうに思ったりします。そういうことで、私は本当に

ここで討論云々ということであれば、わたしは最初から言いましたように、賛成はできなく、やはり、複数のいろいろな方の会社を呼び掛けてやるべきだと、そういう感じを持つておりますので、今回の契約に対しては残念だけど賛同いたしません。

委員会活動

町議会に設置されている総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会では、今年度の所管事務調査の内容を次のとおり決定し、7月から調査を開始しています。

○総務文教常任委員会

- ・町内温泉施設チップボイラーのチップ供給状況と今後の課題について
- ・旧小中学校の活用状況と今後の方向性について
- ・町有施設・町有地の活用方策について
- ・新防災計画の内容と災害用備品の保管状況について
- ・保育園留学の現状と今後の

意見書を提出しました

第2回定例会で意見書7件を原案どおり可決し、関係省庁に提出しました。（内容省略）

●森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、復興大臣

●水田活用の直接支払い交付金の見直しの中止を求める意見書

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、外務大臣、農林水産大臣

●地方財政の充実・強化に関する意見書

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、内閣府特命担当大臣（地方創生）、内閣府特命担当大臣（経済財政政策）

●義務教育費 国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、内閣府特命担当大臣（地方創生）

●2022年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

提出先 北海道労働局長、北海道地方最低賃金審議会長

●国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書

提出先 内閣総理大臣

●補聴器購入補助等の改善をはじめ、難聴（児）者への支援拡充を求める意見書

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣

○産業厚生常任委員会

- 方向性について
- ・道の駅整備の進捗状況等について
- ・GIGAスクール構想、小中一貫教育の取組の現状と課題について
- ・道の駅あつさぶ商業施設の状況について
- ・有害鳥獣対策について
- ・公営塾の現状について
- ・認定こども園への保育園留学
- ・学
- ・農業の担い手対策について
- ・水田利活用交付金廃止に伴う影響について
- ・国保病院の運営状況について

議会報告会を開催

令和4年4月5日から7日の3日間、町内3地区（館・鶉・下）で議会報告会を開催しました。

町民向けの議会報告会は今年で9回目となり、3会場で52名の出席がありました。

冒頭、鈴木議長が開会の挨拶をした後、両常任委員会が令和2～3年度に実施した所管事務調査について報告を行いました。その後、議会や町に対する意見・要望がありましたのでその要点をお知らせします。

館地区

5日

館地域振興

センター

●道の駅は、どのような将来構想があつて新しいものをつくるのか。

重点道の駅に指定されたことにより、トイレを改修し、新商業施設を建てなければならない条件があつた。

（香川議員）

●道の駅は将来を見据え、厚沢部町の観光のためになるかであり、指定されたからつくるのでは将来の展望が見えない。

総額11億円のうち一般財源も相当あるので、本当に町のためになるのか気にしている

議員もいますが、重点道の駅に色々なお客さん呼び、厚沢部の四季折々の風景や戊辰戦争時代のアニメーション、インタラクティブ映像をつくって物産館の売り上げにつなげ、活性化していこうというものです。（鈴木議長）

●農家の人から売り場を広くして欲しいとか、冬の間でも農産物を作つて売りたい等の声はないのですか。

物産館の奥の棚まで販売物を積んでいふことはそれだけ農家の人が必要と感じていることです。（中山議員）

●総額で11億円と聞けば、将来的なことを考えたら、必要があつたのかなという思いがあります。議員は町民の意見を聞きながら議論していただきたい。

町の活性化につなげようと、賛成した議員のほうが多かったということですよ。

軽食、パン屋さん、売店、パワートキンなどが本当にうまくいくのか状況を見極めなければなりません。状況次第では厚沢部町の農産物をメインでということも考えていかなければならない。（鈴木議長）

●どこの道の駅でも冬場の野菜はほとんどない。冬場に出せるような農家の施設に対して町で何か援助してくれたらいい。そういう面をもう少し考えて欲しい。

道の駅へ出店する農家もきちんと話し合いをした中で、冬場の産品を確保していくことが大切だと思います。

11億円もかけるのであれば冬場に何か作れるような体制を進めたらということは本当に大事なことでと思います。（佐々木副議長）

●建物のランニングコストあります。将来かかっていくお金のこともきちんと町民に伝えないとだめだと思う。

指定管理委託料は1,900万円ぐらいになります。（浜塚議員）

●町の指定管理は道の駅だけではないので、全部を足したらいくらかになるのかを聞きたい。

うずら温泉が3,060万円、道の駅トイレが500万円、商工会の建物が100万円くらいです。（鈴木議長）

今、経費の掛かる話をしていますが、人が集まるだとか物が売れるだとか効果があるかどうかというのを計算してきましたというの、人が集まる道の駅なので、何とかもつと集められる方法がないだろうかというところからです。

人が入ってくれば農産物が売れますが、費用対効果でどうかという答えはなかなか出せません。（高田議員）

●農家の野菜のほうに、野菜作りのチャンスをつくつてもいい、助成金をどんどん出してやったら、もっと厚沢部町が豊かになるのではないか。

厚沢部の販売高が40億円から伸びないが、大規模農家も大事だけど、小規模でも水耕



栽培等、生産高を上げられる方法を考えてはということではないかと思えます。

(佐々木副議長)

●11月に町の座談会で質問したが、町長の意見としては太陽光発電をつくると言っていたがどうか。

俄虫温泉の下にゲートボール場があったが、そこに太陽光発電の話を進めている、そのほかに鶉中学校の跡地で木材チップのバイオマス発電、それと鶉ダムの水力発電も検討されている。(鈴木議長)

●電気に頼るしかないのです、厚沢部町も極力そこにしぼって、電気を起こしてください。そうすると農業は冬場でも野菜を作ったりできます。

俄虫温泉下の太陽光発電、鶉中学校跡地を使ったバイオマス発電が一番近いところの計画となっているが、具体的にない話ではないのです。具体的にした話ではありません。

(高田議員)

●人口減に対して厚沢部町は

どう考えているのですか。

どの議員もそれを考えてはいるが、2,040年には厚沢部町で2,000人を切るという見込みです。

厚沢部町は檜山管内の他の町と比べると何が強いかわいえば農業です。その農業に力を入れていかなければ町としては厳しくなります。

(鈴木議長)

人口減少対策は一番の悩みの種です。

当町でも、認定子ども園での保育園留学が新聞にも出ました、期待していただきたいと思っています。やはり当町の場合には少子化対策に力を入れていかなければならないと思います。

(中山議員)

●全国的に水道管の寿命がきて更新する必要があるとの話をよく聞きます。厚沢部町の水道管はどういう状況ですか。

現状は鶉地区の本管が破れるケースが多発しております。昨年は鶉町の本管取替を行っています。今年に関しては字鶉地区をやるとい話を聞いて

ております。要は破れやすい地区を優先して修繕しているようです。

(香川議員)

●そのための積立というのはしているものですか。

町でやるより道の助けを借りて、行っているはずですが。

(鈴木議長)

●館地区憩いの家、以前だったらチップでやっていたようだが去年あたりから見ないが、この燃料が高い時に急にやめた事情は何かあるのか。

去年の11月頃から館中学校の跡地にパルプをもつていて、木材チップを上里温泉、ある程度乾燥したものはうずら温泉へ供給する予定です。

館憩いの家は、チップをトンパックに入れてユニックで吊って入れなければならぬので、手間を考えると灯油と大きな差がなくなってしまう。

(鈴木議長)

●働く人が住む場所を探そうと役場に問い合わせしたが、町営住宅は募集しているタイミングじゃないと応募できな

いと言われました。年収制限があるので前年度の年収により応募条件に見合わないの応募ができない状況です。雨漏りがあるとか、すきま風がある、お湯が出ない、ボイラーがないとなると住めない感じがしますが、どうしたら家を探せますか。

公営住宅は収入の制限があります。今の住宅の制限が、果たして現状に合っているのかどうかということも検討していかなければならない時期であります。今のご意見を参考にして今後検討していきたいと思えます。

(高田議員)

●農家はパートさんにすごく苦労している。現に外国人を使っているが、かなり農家のお金がかかっています。自分の経営だから仕方ないとは思いますが、町の方ではどう考えているのか。

産業厚生常任委員会で中札内に行ってきたときに、パートの賃金が厚沢部とだいぶ違って12,000円ぐらいでした。

(鈴木議長)

●厚沢部は販売高が40億円しかないから桁が違う。どういうふうに町議の方で、このパートさんについてやってくれるのかということです。

農家の場合は研修生をよんでも、冬場の仕事がなくても労賃の保証をしなければならぬわけで、そのへんは何か行政で手を付けないとやっ

ていけない。

(山崎議員)

水田活用の転作交付金があると5年でなくなった場合に、厚沢部農業はどうしたら良いか。

(鈴木議長)

それに関してですが、5年を何とか9年までもってきたというところが、農林水産委員長が言っていました。いずれ何かの手を打つということは考えているようです。

(高田議員)

●5年から9年になることは私たちには救いだ。

●農業後継者の花嫁対策をお願いしていたが、議員方でそれを検討して、行政の力で一人でも多くの後継者にお嫁さ

んを迎えてもらいたいと思いますがどうでしょうか。

●行動しないとどうにもならない、いくら座って考えたってだめです。それを議員たちはいろんな委員会活動の中でやってください。

先般、クリスマスにも町主体で婚活をしましたが、一つも実を結ばない状況でした。我々がいくら頑張ってもこればかりは本人しだいではないかという気がします。そこをどう奮起させるか、それが問題でないかと思っています。

(中山議員)

●用事あって役場に電話をかけますと、こちらは名乗ります。電話に出た職員は何課の誰ですと言う人もいけば言わない人も多いが、町民がかけたときに一番先に「何課の誰です」と名乗るのが一般常識ではないかと思っていますので、その辺をよろしく願います。

そういうことも多々あるのかなと思いますので、町のほうに強く申し入れたいと思います。

ます。(上戸議員)

●最近聞こえてくる話の中に、厚沢部町で発注するすべての入札が、今までは指名競争入札であったが、今後は一般競争入札にされると、そんな話が聞こえている。そういう話がありますか。

町長が私見を言ったときに一般競争入札をできるだけ導入するというふうな話は言いました。ただそれから2月、3月と入札をやっていますけれども、今まで通りの入札のやり方です。(鈴木議長)

●農家は町からいろんな助成をもらっています。種芋の施設も建ててもらいました。農家の倉庫で貯蔵すると高温で品質が落ちてしまうが、農家で冷蔵保管庫など建てられるわけがないので、町でももう少し考えて欲しいというお願いです。

●今日初めて参加させてもらいましたが、参加者が少ないので、町内会だとか様々な委員に声をかけて、もう少し参加者を集める努力をしていた

だきたい。

鶏地区 6日 鶏地区多目的 研修センター

●相和の件について3,800万円の町のお金が使われている。

町の職員、町長、町議の責任は一切ないのですか。まだ1億以上のお金が残っているが、今後、今と同じようなことが出てくるのでしょうか。どう責任を感じていますか。町の決算に賛成した方にどう思っているか聞きたい。

いろいろな事情から滞る方もおりまして、町では分別納付誓約の徴収による定期納付、財産差し押さえによる公売等を実施しながら収納に努めてきたところです。結果的に令和元年に3,889万1千円の不納欠損処理に至ったところでした。

相続放棄され誰からも徴収できないということで、その処理はやむを得ないと私は思っております。相手がいるなかで負担金の収納で極めて

重大な瑕疵があったのか、職員は財産差し押さえによる公売等を実施するなど大きな努力をしていることを勘案した結果、決算を不認定にすることまでしなくてもいいのではないかとということで私は賛成しました。(上戸議員)

3,800万円の不納欠損が出た方は亡くなったわけですが、最終的な財産処分をする、残る金がないという結果になってしまいました。毎度収納状況を精査して、法的にも間違ったやり方は一切していません。最終的な額として3,800万円が不納欠損になりましたが町の職員の収納・やり方は何ら間違いなかったということで賛成しました。(中山議員)

本人は払う気があったかわかりませんが、亡くなってしまった。相続放棄もされました。法律に基づいて不納欠損という形になりました。

(松村議員)

最終的に町も法律に則って何度も徴収の努力をしたけれども、この結果が出てしまっ

たということで最終的な答えとしては致し方ないのかというところで賛成いたしました。(高田議員)

●今、意見をお聞きしましたが、最後は「やむを得ない」で終わりです。全然納得できる説明じゃないです。やはり責任取るところは取るべきだと思います。今後、同じようなことが出てきたときは断固として反対します。

未収金がまだ1億3,000万円あります。支払いが長期になると必ず不納額が発生すると申し上げています。事業が始まってから50年以上経つが、こういう事態が発生するのは議会の怠慢だと思っています。私は常にその責を負う覚悟があります。(山崎議員)

町の最初からの取り組みがあまりにもお粗末だったと思います。当時は農地造成して最悪でも売れば不納欠損は出ないという形で取り組んでいたが、色々な状況で農地の値段が下がり、難しい局面になってしまった。

立替払いについて町長や議員に減給しろと言われることは理解できませんが、厳しいご意見だと思って受け止めます。

(鈴木議長)

●農地をそのまま何もしないと木も生え、何年か経つと地目変更できます。安易にすぐ売ってしまったら下さいということです。

●議会、町長に対する責任問題ということでお話聞いています。

不納欠損っていうのは国営相和の問題だけじゃなくて税金でも取れないものは年数経つと不納欠損処理します。整理した結果で欠損となった状況です。水道施設や町道など、町民全体に関してはそれなりのメリットがあったということになります。

法に基づいて不納欠損というかたちで処理するしかないということで、議会で決めたことは議会の法律の下に決められてきたので、そこも理解していただきたい。

●議員報告会のたびに国営相和の問題が出てきましたが、

この先あといくら出るかわからないという話を聞けば、過去の苦いことを把握しながら先手を打って取り組んで税金を使わないようにお願いしたいと思います。



●何度か議会を傍聴して、自分たちの意見が届いてないという感じがしました。

小中一貫教育っていう国の方針に則って我々の知らないうちに話が進んでいるという気がして、なにか私たちの意見が届いていない、そんな感じが致します。

議員はあと1名か2名増やした方がいいのではないかと

思います。議員の方のお話を聞いてみたいと思います。

小中一貫教育は統合ではないということであり、町長は地域の意見を存分に消化し最終的に判断したいと言っています。小中一貫といえば統合という話になるがそういうことではありません。

(中山議員)

統合について、町長に全員協議会の場で確認したところ、地域の考え方を尊重する方針は変わらないと確認しています。

(鈴木議長)

●去年、何かの集会で将来を担う子供たちのことを思って大人は我慢してくださいと言われました。

地域から声が出ないのに、町側から強制的にするということはないです。それは安心して頂きたい。(中山議員)

●道の駅にしても、統合問題にしても、議員の定数にしても議員の意見を聞きたい。

議員定数ですが、増やすこ

とはありませんが。4月から5月に定数について議員間で協議します。

道の駅は、どういう物を作るかというものを我々に説明があるのが筋ですが、それがなかったということです。そのあと議員全員で説明を受けましたので、よしとしたわけです。

(鈴木議長)

●道の駅合同調査で、7月15日に行った道の駅の整備についての報告をされていたと思います。補正予算の段階で反対討論をしたり、今回は合同の報告ではなく総務文教として報告するということですか。

結局は合同の説明になりました。(高田議員)

●両委員会とも合同の調査を行って報告に関しても同一の報告で両委員会の了解をしているということですか。

そう取るしかないと思います。(高田議員)

●傍聴した身としては合同の調査で、合同の報告でしたということに納得いかないも

のですから確かめましたが、今回も産業厚生委員会の方にも報告は載っているし結果としては両委員会納得の上で合同の報告ということが正式ですね。

●議会報告会は良い取り組みだと思います。ぜひ今後も続けてほしいと思います。議員の中には議会報告会はもう必要ないという意見をお持ちの方もいらっしゃると思いますが。

昨年開催しなかったんですが、それはコロナが蔓延していて、この時期にやる必要があるのかということを協議した経過があります。

結果的にコロナで中止になっていきますけども、誰も議会報告会をやめるとか、必要ないということは出なかったと記憶しています。(上戸議員)

●他町では選挙公報条例があり、選挙をするときは選挙公報というものを発行します。当町はどうですか。

選挙公報は全議員作って選挙の前に出す準備をしています

した。ところが選挙がなかったがためにそれを出さなかったという経過です。

(高田議員)

●人口比率からすると議員定数が多いと思います。協議会等で定数に関して議論するということですが、一町民として減らしても良いと感じます。

どのような結論が出るかわかりませんが議員10人で話し合います。
(鈴木議長)

●議会に行って傍聴しないと、道の駅に限らずわからないというのは当然だと思えます。皆さん議員ですからそういうテーマが出たら、町民全員とは言わないですけどPRしてください。

●傍聴に行くことで自分の町を知ることができたとし、大変勉強になります。議員の皆さんの活動、主張を聞くことができるし今後でもできる限り行きたいと思います。

市町村で議会のユーチューブでの公開とかリアルタイムで配信が当たり前になって

いますが、リアルタイムに議会の情報を出せるのであればぜひ取り組んでいただきたい。

議会の放送施設を変え、放送ができるよう準備をしましたが、予算の関係で、カメラまで設備できなかったが、そういう流れにしたいと個人的に思います。
(高田議員)

●陸前高田市議会も画面真っ暗で音声のみを流しています。映像があれば理想なのかもしれないが、やっぱり手間費用を考えればすぐにできるのは音声かなと思います。どうですかね。

参考にさせていただいて検討いたします。
(高田議員)

●議員の活動を知っていたくのは議員さんのためにもなるし、町側の答弁もすぐ町民に聞かれるっていう緊張感のあるとても良いことだと思います。他の町は前に進んでいますので、そういった現状をご理解の上検討をお願いします。

去年1千百万円程度かけて

音響装置を改修しました。町側と協議していききたいと思っております。
(鈴木議長)

●今年雪が多かったが、誰も住んでいない家で結構傾いている建物も出てきています。議会だよりで、空き家の心配されていた議員がおられたと思います。私住んでいる地区でも空き家があります。

何らかの形で法制化したいということだったが、その内容を教えていただきたいと思っています。

空き家条例を制定したらと質問しました。ガイドラインがあるから条例を作る必要性がなく、解体に補助を出したらどうですかと言いましたら、貴重な財源をそれに使うことはできませんと回答がありました。
(山崎議員)

●ガイドラインが出来るのであれば教えていただきたい。

●議会を傍聴して、なんでこれを質問しないのか、理解しているのかと思うことがありますが、皆さん勉強してください。

議会議員としてあまり勉強してないではないかというのがありました。議会としては檜山南部では活性化していると報道関係者から言われています。議員も一生懸命頑張っていると理解してほしい。
(鈴木議長)

下地区
7日 町民交流センター
あゆみ

●道の駅に賛成反対ということではなくて、これだけの大型で、町の顔になる道の駅のことです。事前に住民にしっかり説明をして、そして議会で議論していただくというのが筋ではないのかなと思っています。

●道の駅について、議員たちは賛成反対意見がありまして、この町の活性化には無理があるのではないかと、維持管理のお金の面や、映像設備を心配されているご意見がありました。反対の方の見というのは私も理解できる内容ですが、賛成されている方の意見が理解できないもの

がありました。今日ぜひとも賛成された5人の方の意見を聞いてみたくよろしく願います。

重点道の駅という指定を受けて、国に事業でやりたいとあげた中に映像空間というものもあります。良い方向に向かっていうことを前提として進めてもらいたいということで私は賛成しました。
(高田議員)

道の駅は檜山の玄関口ということ、お客さんもけっこう寄っていきます。新しい道の駅ができることによってさらに集客や人流を増やして、また観光客のみならず地元の人でも休まれ、近い将来には物産センターと連携しながら行政も住民も応援協力することにより、さらに町の発展・活性化につながるといい、ぜひこの道の駅をつくってほしいということで賛成しました。
(松村議員)

厚沢部町の過疎化が進み、この施設が、今までの施設とプラスアルファでやっていければ、かなり町の発展のため

には良いということで私は賛成しました。(中山議員)

道の駅はこの厚沢部町に一番人が集まる場所です。せっかくこれだけ多く人が集まる交流人口に対して、厚沢部町をより多く知ってもらうというところ、農産物をはじめ厚沢部町の特産物を購入してもらうということが、ひいては厚沢部町の発展にも通ずることになるということが期待できるわけです。

幸い当町の道の駅は、重点道の駅に指定されました。これで補助金ももらえてトイレだとか商業施設も整備することになるわけでありですけども、何もしなければじり貧になるというふうな思いももっています。これが起爆剤になって厚沢部全体の発展になるということを期待しまして私は賛成しました。(上戸議員)

町長が苦勞して国や道の補助金を活用してきたわけです。現在、道の駅の売り上げも1億3千万円ほどあります。ですからこの新たな新商業施設が整備されることによって、この厚沢部への交流

人口拡大がさらに期待されます。

やってみないとわからないという点もございますが、私は町長の重点道の駅にかける思いに期待したいと思います。(山田議員)

●私は反対という言葉は一言も言っておりません。何回か見に行った中では一度も具体的な話がなかったもので、これに7,150万円のお金を投入するということは相当な決心があたりだというふうに、皆様方の決心のほどをととも私は気になりました。こんなに議員さんたちの意気込みがあるのであれば、これは町の人たちにつけを回すことはないだろうというふうに私は安心してこの町で暮らしたいと思いました。

●先般、雑誌を見ましたら道の駅の魅力度ナンバー1からナンバー3まで道南が入っております。全道でナンバー3まで入るぐらいの道の駅に育ててほしいと思います。

また、道の駅の隣の水辺公園が使えないような状況でありますので、これも含めて議

員達でいい案を出して、早期に重点道の駅の隣に立派な公園がありますというふうなことを出来るように努力していただきたい。

●新防災ハザードマップがありましたけども、町民から防災無線装置を付けられないかという意見をうけたことがあります。町内会活動も衰退している状態なので、防災無線を付けるという発想はどうなのかと提案させていただきます。



●道の駅の公園の高いところに展望台がありますが、階段も上り下りできるような状態ではないですし、朽ちた状態になっていきますので、早急な

対応が必要でないかと思っています。

●道の駅に関して賛成・反対された意見、全部に目を通してきました。私が思ったのは360度の映像空間、7,000万円という話を聞きました。私はハコモノというのはもうそろそろ考えてもいいのではないのかなという気はしています。事前の説明だとかそういうこともあって然るべきではなかったのかというふうに私も思っていました。

●魅力のあるものを、建物を建てたけれども魂が入らないということでは困るので、議員の皆さんも出来た後の所管事務調査でのチェック機能を十分に發揮していただいて、投資した分も全国・北海道に誇れる道の駅になっていただくようにお願いをしておきたいと思います。

●厚沢部町が建てた建物に、管理費用を払って管理していただいて、そんなにお金が出たとは思えないということにとても驚きました。これでいいのかなという素朴な疑問があ

りました。

指定管理者制度というかたちで運営をしてもらうわけですから家賃をいただきます。建物を全部無償で提供して営業してもらうわけです。今考えられるのはそれでおさまらなくて一般会計から補助をしなければならぬ状態にまでなるなら大ごとになり、実はそういう心配があります。(山崎議員)

●議会の時にそういう討論がされておまして、心配な点があるのも当然だと思うんですが、心配な点があればあるほど、議員の方たちが町民一人ひとりに向かい合ってお知らせするというのをぜひお願いしたいと思います。

全町民に議員が話すというのは無理があります。議会報告会については議会だよりを町民に配布しますのでそれを見て町民でわかる方もいるかと思っています。あとは各議員が知人等にそれぞれ対応していくと思っています。(鈴木議長)

●パークゴルフ場の関係ですが、昨年グリーンをはりかえしていただいて良くなっているのかなと思ったら非常に状態が悪いのです。今のまま乗用1台で刈るとグリーンは全然良くなりませんので、議員も確認しながらどうすればいいのか、教育委員会と知恵を出してもらえればと提言を申し上げます。

●PTA改編問題について質問したいと思います。厚沢部町PTA連合会が3月31日をもって解散ということでPTAについて責任を持つ人が誰もいなくなりました。PTA退会について賛否をとるアンケートの文面をつくったという教頭さんたち4人のうち3人が転出し1人しか残っていません。この問題をめぐっての質問は今後どこにしていけばいいのでしょうか。議員の中でもいいので誰に聞けばいいのかということだけ聞いてほしいと思っています。

内容的なものは、我々も教育長に聞くことはできます。教育長しかないとはいいます。強いてあげればあとは町長し

かないでしょう。町長がどこまで把握しているかは別として、教育行政も含めてのトップですから。（鈴木議長）

●PTAは任意団体なので、教育委員会が決めるということではないです。やめようということは、全国的にはけっこうあるんですけども、民主的に言えばそういう経過をたどってなっているはずだと思

●小中一貫というのを進めていこうとしているわけです。総務文教常任委員会の中であえて3校そのままで学校統合に関わるものではないとの説明がありましたけど、義務教育学校みたいになかたちをとっていくのであれば当然統合問題というのは問題になってくるであろうと思います。

義務教育学校の話で統合云々という話が出てきた。今はそうじゃなくて中1ギャップだとか、こども園から小学校に上がるときとか、3年生から4年生のギャップってあ

りますよね、そういうものを解消しようということで一貫教育が始まっています。た

●義務教育学校については、透明性を持ってやってほしいなと思います。みんながわかるように。

●厚沢部小学校のPTAの役員側としては、校長先生と教頭先生とで話し合いましたが、終わってしまいました。

●厚沢部町で保育園留学というのがホットな話題で、テレビの取材が入ったりしていますが、議員がその内容の把握ですとか町民説明の場だとか必要だと思っているんですが、そういう部分はこう思っていますか。

保育園留学推進協議会というのが立ち上がり、今年から

きちんと事業化してやろうということになりました。今、希望が130人以上あって実際に決まっているのは60件くらいで、キャンセル待ちが68件ある。将来的な移住実績につながる確率は上がるんじゃないかと期待しています。（高田議員）

この保育園留学はある意味では厚沢部町の大きな改革の材料となるのではないかなと思ったりもしています。ただ受けるためには体制整備をしっかりとしなければなら

●現在発達支援センターは担当2人で、1人は保健師が行って、もう1人は臨時保育士です。年々該当者が増えてくる実態がある。是非議員方も理解されて正規の配置をして頂きたい。

移住から交流人口そして今は関係人口というものが今回やっている保育園留学かなと思うんですが、ムーブメント

というか動きを作るのは大事だと思いますので併せてよろしくお願いします。

発達支援センターは、専門的スタッフが足りない状況です。小学校は比較的発達支援のお子さんを見るクラスを作っていてそれなりに充実しているの

こども園については体制整備をこれからの課題として受けとめたいと思います。（山崎議員）

●サツマイモが有望で東南アジアにどんどん輸出していて、厚沢部町も札幌酒精が来てからずっと農家の皆さん小規模ながらサツマイモを作付けしています。非常に作りやすく、厚沢部町も間違いなく穫れるし良いものも穫れるので、農業振興という一つ大きな柱の中に新規作物として積極的に取り組んでいただきたい。

ゆくゆくは厚沢部町の一つの産物になるのではないかと

(中山議員)

●新町の旧保育所を活用する
まで子供の遊び場として活用
できないかと要望したいと思
います。

●国営相和は半世紀以上経っており、調査をしながらダメ

国営に関しては、当初98名の農家さんがいましたけど、今現在完納されていない方が町の方で7名います。

(佐々木副議長)

国営相和を早く処理してくださいと、そういうことになれば町としても不納欠損になります。営農を続けている方もいますので、営農している人が困らないように町もいろいろ対策を考えているので、一概にすぐに終了しなさいというより年数がかかっても町に大きなダメージがないように処理するのがベターじゃないかと考えています。議員それぞれいろんな考えがあると

(鈴木議長)

●レクの森の事業というのは、国から買ったときに5億円くらい国から予算が出て4年間かけてやるはずだったのが途中で中止になっています。理由は調査をちゃんとしてなかったということなんです。2つ大きなルールがあつて、1つは専門家を置いて毎年希少な植物のモニタリングをするということ、2つ目のルールは教育目的の事業を柱にして教育委員会に担当を一本化するというルールだったんですが、このルールに変更があつたと説明がありました。私はこれに10年以上関わっているけど、わからないことが次々と出てくるので是非役場から色々な計画説明が出てくると思うんですけど、しっかりと説明を受けて、これまでのルールがどう変わったのか、それはなぜかということを審査してまた報告してほしいと思います。

ご意見として承ります。

(山崎議員)

手続きは、議会事務局備え付けの傍聴者名簿に住所・氏名を記入するだけです。

編集後記

毎年のように暑さも厳しさを増している感じもありこれも異常気象・地球温暖化の影響で
しょうか。

自然界のあらゆるものに変化が生じはじめることゆえに自然界においては、厳しい一面もあります。

文明の力は人の暮らしを向上させ豊かにしましたが、自然界の摂理を崩すことにも繋がりました。同時に人の心までもが崩される時代です。

この地球上における様々な異常事態は、私達人類が背負うべきものかも知れません。

さて、当町におかれましては、基幹産業である農業は、春の水不足や夏の干ばつまた大雨被害による農作物などの影響が心配される所であります。

また、地球温暖化と関連するとは限りませんが、最近異常に多くの火災が発生している状況であります。どうぞ皆様におかれましては、火の元には十分に気をつけて頂きたいと思います。

最後になりますが、これから町内会との連携を取り今までも以上に防災意識を高め被害に遭わぬよう、自分の身は自分で守ると言う意識を持って生活して頂きたいと思います。(かつや)

□議会広報編集特別委員会

委員長	松村
副委員長	上戸
委員	山田
委員	香川
	直樹
	克哉
	昌行
	松雄